

弁膜症クリニックのお知らせ

弁膜症クリニックでは、弁膜症を有する患者さんに専門的な知識と先進的な検査を駆使し、正確な診断とより良い治療を提供しております。院内・院外を問わず、弁膜症専門家の診察を受けたい方は、どなたでも受診できます。ご紹介もよろこんでお受けいたします。

このクリニックでは、患者さんは循環器専門医と心臓血管外科専門医で構成された専門家チームの一人の診察を受けますが、情報はチームで共有されカンファレンスで治療方針が決定されます。その結果、紹介医の先生方や患者さんにはより良い治療法を提案し、必要に応じて手術を行わせていただきます。

【このようなときに受診をお勧めします。】

- 弁膜症と診断されたけど、どの程度深刻なのか知りたい。
- 弁膜症といわれたが手術の必要性や時期について不安がある。
- 心筋梗塞後の検査で僧帽弁逆流があるといわれた。
- 弁置換が必要といわれたが、形成（自己弁の温存）ができるないの？
- 機械弁と生体弁、どっちが良いの？
- 小さい切開創で手術してほしい。
- 開胸しないでカテーテルを用いた弁植込み術やロボット手術を受けたい。
- 成績の良い病院で手術を受けたい。

診断

弁膜症クリニックでは、最新の機器で検査を行います。必要に応じて以下の検査を行い、最適な治療法を提案いたします。

- 心臓超音波検査
- 経食道心エコー検査
- 運動負荷心エコー検査
- 心電図検査
- 心臓カテーテル検査
- CT・MRI検査

治療

弁膜症クリニックでは、以下の治療法を含むあらゆる治療法を提案いたします。

- 弁膜症の症状を緩和し、ストレスのかかっている心臓を保護する内服薬の提案
- カテーテルで狭くなっている僧帽弁を広げる治療（PTMC）
- カテーテルを用いた大動脈弁植込み術（TAVI）
- ロボットを用いた形成術（低侵襲手術）
- 小切開の形成術（低侵襲手術）
- 弁形成術
- 弁置換術（同種生体弁やロス手術を含む）
- 心房細動に対する不整脈治療

それぞれの治療は適応がありますので、すべてご希望通りとはなりません。また、治療中の治療も含まれております。

患者さんをご紹介いただく場合

患者さんをご紹介いただく際には、「診療予約依頼書 兼 診療情報提供書」に必要事項をご記入の上、**専門医療連携室（06-6170-1348）へFAX**でご送信ください。

「**弁膜症クリニック 診療希望**」とご記入いただきますようお願い申し上げます。

※月曜日から金曜日まで、全ての曜日で対応しています。曜日に関しましては、可能な限りご希望に沿わせていただきますので、ご遠慮なくお申し付けください。

患者さんが紹介状を持って直接ご来院される場合

中央窓口1番（初診）に紹介状をお持ちいただき、「弁膜症クリニック受診希望」の旨をお伝えください。



国立研究開発法人
国立循環器病研究センター

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号
TEL 06-6170-1070(代) <http://www.ncvc.go.jp>